

2026年(令和8年)7月16日(木曜日)

学生の今を支え、未来へつなぐ

―就職支援アドバイザーとして―

私は秋田職業能力開発短期
大学校(東北能開大秋田校)
で就職支援アドバイザーとし
て勤務し、今年で11年目を迎
えます。国家資格キャリアコ
ンサルタントを保有し、これ
まで多くの学生たちの進路選
択や就職活動をサポートして
います。

本校は機械系・電子情報系
・建築系など、ものづくり分
野に特化した短期大学校で
す。実践的な学びと充実した
実習環境を備え、少人数制に
よるきめ細かな指導を行って
います。平成5年の開校から
32年間で、およそ2500人
の学生が学び舎を巣立ち、地
域や全国の企業で活躍してい
ます。

就職支援というと、履歴書
の添削や面接練習、企業紹介
などを思い浮かべる方が多い
かもしれませんが、私は「心理的安全性」の重要性
がこの仕事を続ける中で感じ
てきたのは、就職活動の課題
は単なる技術や知識だけでは
ないということでした。

「自分にはなにもない」
私は1年生の「キャリア形
成概論」の合同授業を担当し
ています。この授業で学生た
ちは、マインドセット、強み
や価値観などの自己理解、コ
ミュニケーション、自己決定
理論、ウェルビーイングな
ど、ポジティブ心理学に基づ
く考え方やスキルを学びま
す。また、夢を掲ぐ「未来マ
ミ」の作成も取り入れてい
ます。

発達心理学において、青年
期は社会へ出るための準備期
間(エゴトリウム)と言われ
ています。だから、私は、
この授業を通じて学生たちに
「この2年間で、自分の足で
自分の人生を歩ける人、自分
で自分の幸せを創り出せる人
になってほしい」と伝えています。

進路支援において私が特に
大切にしているのは、「自己
決定」です。学生の迷いや悩
みに寄り添いながらも、最終
的な進路は学
生自身が選
ぶ。長所が
見つからない
という学生
が多々いま
いる。その
経験が、自
分の人生を
主体的に生
かすにつな
がると考え
ています。

さらにAI
が急速に発
達する時代
だからこそ
、自分を理
解し、自分
の言葉で自
分の価値を
表現する
ことが重要
だと考えて
います。私
が就職支援
アドバイザー
として喜び
を感じる時
間は、学生
の笑顔を見
る瞬間です
。特に、学
生の進路が
決まった時
や、無事に
修了式を迎
えられた時
は喜びもひとしおです。

また、来校された企業の方
から修学生の活躍を伺ったと
きや、紙面で活躍する姿を見
つけたとき、学校へ元氣な顔
を見せにきてくれたときに
も、大きな喜びを感じます。
時には結婚して子どもを連
れて学校を訪れてくれること
もあります。

最後に、私が学生たちに
いつも伝えている言葉があり
ます。



「自分の心と身体、そして
たつたひとつしかない命を大
切にしてほしい」
人生ははるまじく長いこと
もあれば、思い通りにいかない
こともあります。それでも、
自分を大切にしながら、自分
らしい人生を歩んでほしいと
願っています。そしてこれか
ら社会へ羽ばたく学生たちや
修了生が、それぞれの場所で
自分らしく輝き、幸せな人生
を歩んでくれることを願って
います。

なお、第3回以降のコラム
では、地元で活躍する本校修
了生の様子をお伝えします。



東北能開大秋田校

就職支援
アドバイザー
伊藤 孝子



「自分にはなにもない」
私は1年生の「キャリア形
成概論」の合同授業を担当し
ています。この授業で学生た
ちは、マインドセット、強み
や価値観などの自己理解、コ
ミュニケーション、自己決定
理論、ウェルビーイングな
ど、ポジティブ心理学に基づ
く考え方やスキルを学びま
す。また、夢を掲ぐ「未来マ
ミ」の作成も取り入れてい
ます。

発達心理学において、青年
期は社会へ出るための準備期
間(エゴトリウム)と言われ
ています。だから、私は、
この授業を通じて学生たちに
「この2年間で、自分の足で
自分の人生を歩ける人、自分
で自分の幸せを創り出せる人
になってほしい」と伝えています。

最後に、私が学生たちに
いつも伝えている言葉があり
ます。